

六本木アートナイト 2017 関連企画

アーティスト・ワークショップ

「日々の亡霊」

古くなって着なくなったシャツを皆さんどうしていますか？
捨ててしまったり、リサイクルされたりしているでしょうか。
シャツを手放す時、ほんの少し、そのシャツの思い出が
よみがえって、手放すのを一瞬躊躇するような経験は
ないでしょうか。

アーティスト吉本直子はそうした古着に刻まれた日常の記憶を
解体し、永遠とも生死のはざまともいえる円環に戻す作品
「日々の亡霊」を制作しています。

このワークショップでは、この「日々の亡霊」のインスタレーション展示を
きっかけに、実際に古着となったシャツとその記憶を持ち寄っていただき、
アーティストの制作を追体験することで、参加者自身が
何か新しい視点を持てるような機会にしたいと思います。



吉本 直子 (よしもと なおこ)

1972年、兵庫県生まれ。
文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研修員
およびポーラ美術振興財団在外研修員として
英国に滞在。古着に残された記憶を掘り上げ、
「生」や「死」に想いを馳せる作品を制作。

主な展覧会は「吉本直子 Reflection Space - 鼓動の庭」(2012、
愛知県美術館)、「16th DOMANI 明日展 未来を担う芸術家たち」
(2013、国立新美術館)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」
(2015、新潟)など。現在、京都を拠点に活動中。

■申し込み方法

国立新美術館ホームページの申し込みフォームより、
2017年8月23日(水)15:00から
9月15日(金)15:00までの期間に
申し込み手続きを行ってください。

問い合わせ先：

TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

※申し込みフォームを公開する時間は予告なく変更になる場合があります。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※参加の可否については9月15日以降にEメールでご連絡します。

※必要事項に記入漏れがある場合、受付をお断りすることがあります。

※参加者ご本人以外の方の見学、当日参加は固くお断りします。

※申し込み時にご記入いただいた個人情報はワークショップの実施のために使用し、
それ以外の目的で使用することはありません。

2017年9月30日(土)

13:00—16:00

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム 他

講師：吉本直子(アーティスト)

対象：一般(小学校4年生以上)

定員：20名 ※事前申し込み制

参加費：無料

持ち物：古着のシャツ・布用の裁ちばさみ

※シャツは平織で、綿か麻100%に近いもの。

ニットや合成繊維100%・形状記憶繊維は不可。

Canon

国立新美術館の教育普及活動は、
キヤノン株式会社より御支援をいただいています。

新

THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO

国立新美術館